

Hospital 病院クローズアップ

国立病院機構

あわら病院

在宅医療支援をスムーズに行い、
地域に密着した診療を最期まで行う

当院は障害児（者）医療、血液・免疫医療、長寿医療を中心とした専門医療に取り組んでいます。特色としては、在宅医療支援をしていることです。

平成21年より、訪問医療・訪問看護を開始。平成27年に立ち上げた訪問看護ステーション「アイリス」では、病気や障害があり、家庭で療養しながら生活されている方に、生活の質を重視したサポートを実施しています。看護師が訪問看護に出向くので、コミュニケーションが取りやすく、情報共有もでき、患者さんのケアや診療の管理を安心して行うことができます。

オーストラリアでは地域の病院が、在宅患者用の病床を持ち、入院治療後、回復すれば自宅に戻り、看護師が訪問してケアを行います。それと同じかたちのものが当院の在宅医療療養病床です。退院後は入院患者を診た看護師が、訪問看護に行きますので、安心して療養できるのではないのでしょうか。

もう1つ、在宅医療を支えるのが「医療介護連携支援クラウドシステム」です。地区の医師会が提供している「カナミックネットワーク」というシステムを使っているのですが、医療スタッフのみならず、家族も含めて関係者全員が情報共有できます。

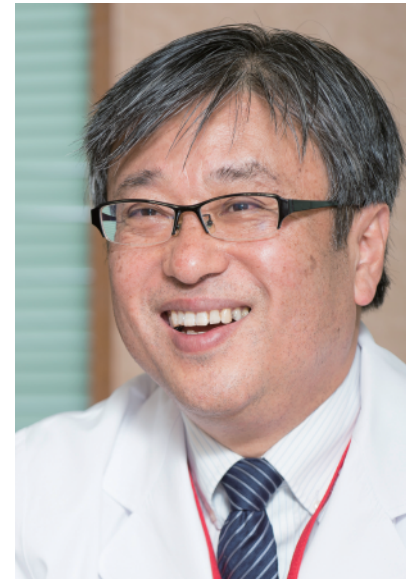
実は、我々は直接、介護事業に携わることはできません。そこで、提携在宅介護支援事業所というのをつくりました。呼んだらすぐに提携してい

るケアマネジャーが病院に来てくれます。これにより手続きなどのアプローチが格段とよくなりました。

もう1点、これはがん医療になりますが、将来的にやりたいのは在宅輸血です。訪問看護で在宅輸血をすでに実施している施設もあるようですが、一部の血液腫瘍は週に1回輸血が必要ですし、当院でもそういう方に在宅輸血のサービスが提供できるようになればという思いがあります。

そういったことも含め、可能な限り地域の方に良質で、適切な価格で、効率的な医療を提供して、皆さんに喜んでもらえるような病院にしたいと思っています。その中には当院の職員も含まれます。私たちが仕事をする中で、皆さんに喜んでいただき、やりがいや喜びを感じられる施設をつくっていききたいというのが、私の一番の願いです。

最近、若い先生によく言っていることは、患者さんの懐の中に入って診療してほしいということです。地域の特徴として、人と人、患者さんと医者との結びつきはかなり強いです。それは地域に密着した医療の特徴ではないかと思っています。そういう医療を経験するのは、昔のいわゆる診療所だと思いますが、一般的な診療所で看取りまで行うのが難しい時代になってきました。今後は新しい関係の中から、質の高い、地域に密着した医療というものを教えられる、あるいは経験していただけるような体制を提供していきたいと考えています。若い先生方にも是非、それを勉強していただければと思います。



院長PROFILE

津谷 寛 (つたに・ひろし)

1981年三重大学医学部卒業。

1986年福井医科大学（現・福井大学）附属病院第一内科助手、1993年米国アルゴン国立研究所細胞工学センター研究員（非常勤）、1995年福井医科大学附属病院第一内科講師を経て、2003年国立療養所北湯病院（現・国立病院機構あわら病院）院長に就任。

あわら病院 DATA

■ 所在地

福井県あわら市北湯238-1

<http://www.awara-hosp.jp/>

■ 病床数

172床

■ 診療科目

内科／リウマチ科／循環器内科／血液・腫瘍内科／老年内科／神経内科／小児科／外科／皮膚科／整形外科／眼科／放射線科／研究検査科

■ 研修の特色

力を入れている領域は、医療過疎地診療所としての在宅医療、嚥下機能評価とリハビリテーション、延命治療やがん終末期の意思決定支援です。また、重症心身障害児（者）・血液腫瘍・神経難病・長寿医療のセーフティネット症例、地域医療機関からのcommon disease症例、「地域包括ケア病床」を利用した高次医療機関からの紹介など、多彩な症例が経験できます。



運動訓練室



5Fナースステーション



訪問看護ステーション



北湯湖

あわら病院のある街

海と山、温泉などに恵まれ、自然が満喫できて海の幸も楽しめる街

あわら市は福井県の北端に位置し、福井平野から加越台地にかけて広がる市。また、病院の付近一体は、越前加賀海岸国定公園に指定されており、眼下には日本海と並ぶように南北に細長く伸びる北湯湖が広がり、自然に恵まれた立地だ。夏は気温が高く、日照時間も長い、冬は曇りの日が多く、雪も多い。ただ、嶺南は対馬海岸の影響を受けて冬でも比較的暖かいという。

あわら温泉駅前には無料の足湯、「芦湯」がある。「これで無料?」と思うほど立派な建物で、無料駐車場もある。隣には湯けむり横丁という屋台村があり、夜は提灯に灯りがともっている感じ

だ。近くにある「だるまや菓舗」というお土産屋は、芋きんつばなどの地元の名物だけでなく、フルーツが入った最中など、オリジナルのお菓子や懐かしい駄菓子などもある。一度、のぞいてみるのも楽しそう。

福井県を代表するスポットとして有名なのが「福井県立恐竜博物館」だ。多くの恐竜の化石を発見してきたことから、平成12年に日本で初めて恐竜の展示を中心とした博物館として誕生。40体以上の恐竜の全身骨格があり、見ごたえ満点。また、恐竜の森を再現した大型ジオラマもあり、恐竜好きにはたまらない空間となっている。

